

2020年7月13日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、セイコーエプソン社が発行するグリーンボンドへの投資を実施 ～ESG投融資を通じたSDGsへの貢献～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島 直樹）は、ESG投資の一環として、セイコーエプソン株式会社が発行する「グリーンボンド」（以下「本債券」）への投資を決定しましたのでお知らせいたします。

本債券は、持続可能な社会の実現に向けたプロジェクトに要する資金を調達するための同社のグリーンボンド・フレームワークに基づき、発行されるものです。

今般、当社が投資する本債券の調達資金は、「高環境効率商品、環境適応商品、環境に配慮した生産技術およびプロセス」、「再生可能エネルギー」、「持続可能な水資源および廃水管理」、「汚染防止および抑制」に関わるプロジェクトに活用されます。

<概要>

発行体：セイコーエプソン（R&I格付：A）

名称：グリーンボンド

※ 国際資本市場協会（ICMA）が公表する「グリーンボンド原則」に準拠した
グリーンボンド

発行総額：200億円

償還期間：10年

当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」^(*)に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮した資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

以上

^(*) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治（ESG）の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。